

平成27年度 教育部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子 育 て ・ 教 育	政策展開の方向性																																		
	子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。																																		
	平成27年度 of 取組状況報告 (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)																																		
	06-02 子どもの教育の充実																																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着のため、学習サポート教員を引き続き学校に派遣するとともに、外国語活動の小学校1・2年生への拡大、改築した江別太小学校と江別第一中学校に校内LANを整備することにより、ICTを活用した教育環境の充実等に取り組みました。また、障がいのある子どもに対する環境整備として、特別支援学級を小学校4校、中学校1校に新設したほか、肢体不自由児のためのスロープを玄関前に設置するなど施設のバリアフリー化を図りました。 ・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学と連携して体力向上プログラムや出前授業を実施したほか、新たに、正しい走り方を身に付けるための「走り方教室」を実施しました。 ・開かれた学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援地域本部事業の取組として、引き続き学校支援ボランティアの全体的な派遣を実施しました。 ・安全で安心な教育環境を確保し、学校施設・設備の整備充実を図るため、江別第一小学校の改築工事に着手するとともに、江別太小学校、江別第一中学校の改築を完了したほか、屋体の非構造部材の耐震改修工事を実施しました。 ・様々な悩みや問題を抱える児童生徒のために、これまでと同様にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等が、専門性を活かした相談業務を実施したほか、不登校の児童生徒のために、すぽっとケア事業を実施し、支援の充実を図りました。また、ネットトラブル等の対応として、ネットモラル普及啓発のリーフレットを市独自に作成し、児童生徒に配布しました。 ・次代を担う青少年の健全育成を推進するため、体験活動等の事業のほか、育成団体等に対する補助金交付や各種会議を通じた連携強化の取組を実施しました。 ・政策の成果指標「教育施策に満足している保護者の割合」及び「生きる力が身についた児童・生徒の割合」は概ね横ばいであり、個別計画である学校教育基本計画の成果指標「学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合」については90%前後の高い水準を維持することができました。 																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て環境が充実していると思う保護者の割合</td> <td>%</td> <td>44.6</td> <td>39.2</td> <td>43.2</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>教育施策に満足している保護者の割合</td> <td>%</td> <td>78.0</td> <td>84.1</td> <td>83.3</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「生きる力」が身についた児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>77.6</td> <td>76.7</td> <td>75.8</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	39.2	43.2		↗	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	84.1	83.3		↗	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6	76.7	75.8		↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																												
	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	39.2	43.2		↗																												
	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	84.1	83.3		↗																												
	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6	76.7	75.8		↗																												
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>「学校教育基本計画」</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合</td> <td>%</td> <td>88.7</td> <td>91.0</td> <td>91.7</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							「学校教育基本計画」	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合	%	88.7	91.0	91.7		↗															
「学校教育基本計画」	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																													
学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合	%	88.7	91.0	91.7		↗																													

政策展開の方向性

市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。

平成27年度の取組状況報告（前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）

07-01 生涯学習の充実

- ・社会教育施設が市民の交流や学習活動の拠点として活発に利用されるために必要な環境整備として、修繕計画に基づき、中央公民館の空調機器・トップライト改修、野幌公民館のパネルヒーター更新等を実施しました。
- ・生涯学習の各活動が、自主的に展開され安定的に運営されるようにするため、社会教育団体への公民館使用料の減免等の支援を実施しました。
- ・市民が社会参画に向けた多様な知識を得る機会を提供するため、市内4大学と連携した生涯学習講座である「えべつ市民カレッジ」を開催するとともに、学びの履歴を記録できる市民カレッジ手帳を希望者に発行するなど、参加意欲を向上させる取組を実施しました。
- ・政策の成果指標「生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合」、個別計画である社会教育総合計画の成果指標「生涯学習の機会が充実していると思う市民割合」は、いずれも前年度に比べ概ね横ばいとなりました。習いごとや趣味の活動を行う市民を増やすことや、生涯学習の機会について多くの市民に知っていただくことが重要と考えられるため、より積極的な情報提供に努めていきます。

07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

- ・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や発表の場を提供するほか、活動団体の安定的な運営への支援を行うとともに、文化施設の計画的な修繕として市民文化ホールの舞台音響設備の更新等を実施しました。
- ・文化財や歴史遺産を調査・保存し、後の世代に正しく継承していくための展示・収蔵施設の将来の方向性を検討するとともに、維持保全に必要な整備箇所の優先度を整理するための点検等を行いました。
- ・政策の成果指標「文化・芸術活動に参加している市民割合」は前年度に比べ概ね横ばいとなり、引き続き、習いごとや趣味の活動を行う市民を増やすための方策を検討する必要があります。
- ・個別計画である社会教育総合計画の成果指標「文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」は改善が見られますが、今後とも、文化や歴史に触れる機会について多くの市民に知っていただくため、積極的な情報提供やPRに努める必要があります。

07-03 市民スポーツ活動の充実

- ・災害時の避難所としても重要な社会体育施設の計画的な改修（耐震化・長寿命化）として、大麻体育館（第一体育室）の耐震改修実施設計を行ったほか、施設の修繕及び備品の更新等、スポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努めました。
- ・スポーツ・レクリエーションについては、学校開放事業など幅広い年齢層に対応する活動機会の提供や、地域スポーツ活性化のための体育協会やスポーツ少年団の活動に対する支援を引き続き実施し、活動団体の活性化促進のための分析・評価に向けては、体育施設管理団体と連携して利用者アンケートを実施し、施設整備や各種スポーツ事業の改善に取り組みました。
- ・社会体育施設の在り方については、その方向性に係る検討を継続して行ったほか、関係機関・競技団体とも連携して、北海道に対して道立野幌総合運動公園の施設整備に係る要望活動を行いました。
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、トップクラスのスポーツチームや団体との交流を通じた市内のスポーツ振興を図るため、スポーツ合宿誘致推進に向けた協議を重ねて具体的な誘致策をまとめ、平成28年4月から誘致活動を実施するための準備を行いました。
- ・政策の成果指標「週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合」は横ばい、個別計画であるスポーツ推進計画の成果指標「スポーツ機会が充足していると思う市民割合」については減少が続いていますが、スポーツに対する市民ニーズが高まっていると捉え、より多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、今後も活動機会の充実と環境整備に努める必要があります。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合	%	33.2	28.6	28.5		↗
文化・芸術活動に参加している市民割合	%	18.3	16.5	17.3		↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合	%	40.2	37.3	37.8		↗

教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合	%	72.0	59.2	58.1		↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	45.1	30.1	38.3		↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	76.5	61.3	57.6		↗

2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦略 1 とものつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業」(生涯学習課)
戦略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3A 社会全体で子どもを産み育てるまちづくり 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「児童生徒体力向上事業」(学校教育課) 「小学校外国語活動支援事業」(学校教育課)
戦略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 教育部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	5,011,515	5,248,470			
	特別会計 (B)	0	0			
	合計 (A+B)	5,011,515	5,248,470			
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	104	103			
	平均単価 (b)	7,853	7,764			
	人件費 (a×b)	816,712	799,692			
総額		5,828,227	6,048,162			

